

特別講演 12月16日(土) 15:15～16:45

写真が語る、いのちのバトンリレー
～被災地、紛争地、
在宅看取りの現場から



國森 康弘 氏

(写真家・フォトジャーナリスト)

神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。
紛争地や経済困窮地域を回り、国内では、
戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者
たちの取材を重ねてきた。
命の有限性と継承性がテーマ。

パネルディスカッション

12月16日(土) 16:50～17:45

地域包括ケアと
臨床倫理コンサルテーション
<パネリスト>

市原 美穂
(認定NPO 法人ホームホスピス宮崎理事長)
牛谷 義秀
(宮崎市郡在宅医会理事長
宮崎ケアケアネットワーク代表世話人
医療法人将優会クリニックうしたに理事長)

前日プレ企画

宮崎大学医学部附属病院
臨床倫理・研究倫理支援体制
見学エクスカーション

日時：12月15日(金)16:30～18:00
会場：宮崎大学医学部附属病院

大会企画シンポジウムⅠ

12月16日(土) 13:30～15:00

研究倫理コンサルテーションの最前線
<オーガナイザー>

田代 志門 (国立がん研究センター)
松井 健志 (国立循環器病研究センター)
<シンポジスト>

David Wendler
(National Institutes of Health Clinical Center, USA)

會澤 久仁子 (国立循環器病研究センター)
<指定発言>

Reidar Lie (University of Bergen, Norway)
武藤 香織 (東京大学医科学研究所)

大会企画シンポジウムⅡ

12月17日(日) 10:40～12:10

臨床倫理コンサルタントの
バックグラウンドとコンサルテーション
活動のメリット・デメリット
<シンポジスト>

瀧本 禎之 (東京大学)
金城 隆展 (琉球大学)
長尾 式子 (北里大学)

託児サービスのご案内

ご利用は無料ですが、
事前の予約が必要です。
年次大会事務局まで
お申込みください。

2017年

12月16日(土) 17日(日)

会場

シーガイアコンベンションセンター

〒880-8545 宮崎市山崎町浜山

参加費

【事前登録】

■会員 7,000円 ■非会員 8,000円
■学生 2,000円

【当日申込】

■会員 8,000円 ■非会員 9,000円
■学生 3,000円

日本生命倫理学会 第29回年次大会

大会テーマ：臨床倫理・研究倫理
コンサルテーションの現在と未来

大会長 板井孝太郎(宮崎大学)
実行委員長 岩江荘介(宮崎大学)

宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門 臨床倫理部
〒889-1692

宮崎市清武町木原5200 TEL & FAX:0985-85-9395(直通)

Email:bioethics29@med.miyazaki-u.ac.jp

大会URL: <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/bioethics29/>

大会事務局